

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	環境美化推進事業	事業期間	平成 9 ~ 年度	整理番号	02050102
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	作成担当者名	金井和人
				連絡先	72-2905

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	02	第2章 好きなまち・誇れるまち・未来につなぐ環境都市をめざす
				施策	04	第4節 未来につなぐ環境を創る
				細施策	01	広域的な連携と市民総参加の活動の推進
				事務事業	05	美サイクル茅野活動支援事業
	予算事業名	環境美化推進事業費			会計コード	001 款 04 項 02 目 03 事業 01
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	平成8年に設立された実践する提言団体の美サイクル茅野は、茅野市の環境美化活動及び環境教育の推進と循環型社会の実現に向けて、生活環境における課題別に部会を設けて課題解決の活動を進めている。特に、環境教育として具体的に環境副読本や手作り環境絵本を作成し配布している。本年は20周年を迎え、可燃ごみの減量の一環として、紙類の分別の徹底に取り組む予定である。				
	現状と背景 （どうして）	美サイクル茅野は、パートナーシップのまちづくりの生活環境の分野を担う団体として、ごみ減量とリサイクル活動の効率的推進や景観形成のあり方の提言を行い、その提言を具現化し、実践する活動を進めている。				
	目的	受益者 （誰のために）	市民			
		対象 （直接働きかける）	同上			
		意図 （どんな状態にしたいか）	ごみ減量やリサイクルの推進のための意識の高揚と環境美化活動への参加並びに、環境教育への協力			
	手段・方法 （どうやって）	美サイクル茅野活動支援				
（ N ）	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		活動計画の事業数	活動計画事業数	件	当年度に目標とした件数	(*)
						(*)
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		実施した事業数	実施した事業数	件	当年度に目標とした件数	(*)
						(*)

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
事業費等 (a)	円	1,561,000	3,091,000	3,893,000	5,692,941	5,693,000	
財源内訳							
国庫支出金	円						
県支出金	円						
地方債	円						
その他特定財源	円						
一般財源	円	1,561,000	3,091,000	3,893,000	5,692,941	5,693,000	
職員数							
正規職員	人						
嘱託職員	人						
臨時職員	人						
合計	人						
対象（者）数							
延利用（者）数 (b)							
単位コスト (a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
受益者負担額	円						
市民一人当たりのコスト	円	28.00	55.00	70.00	103.00	103.00	
（ D ）	活動指標	活動計画事業数	目標	件			
		実績	件	30	30	30	30
		達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	件				
		実績	件	-	-	-	-
		達成率	%	-	-	-	-
（ O ）	成果指標	実施した事業数	目標	件			
		実績	件	24	24	24	24
		達成率	%	-	-	-	-
	-	目標	件				
実績		件	-	-	-	-	
	達成率	%	-	-	-	-	
備考	年度ごとに活動計画を決めるため、目標値の設定はしない。 民プランの細施策において横断的な事務事業である。対象細施策の政策体系番号 06020201						

事務事業名	環境美化推進事業	事業期間	平成 9 ~	年度	整理番号	02050102	
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先	72-2905

期	目標	実績	課題
第1期	ごみ減量に向け、可燃ごみの紙類の分別を推進するため、本年度は2地区にモデル地区として取り組んでいただく。環境教育副読本を市内全小中学校の小学4年生に、環境絵本「やつがたけのちっちゃ」も市内在住の年長児に配布する。駅前南リサイクルセンターの整備に合わせ、新たな分別品目の検討を行う。	紙分別モデル地区として城山区、南小泉区に依頼し説明会を実施する。小学4年生482人、年長児508人に環境副読本、環境絵本を配付	紙分別のモデル地区での取組みについて環境についての学習・活動が続くように支援する
第2期	紙分別モデル地区として城山区、南小泉区で取組の開始。環境絵本やつがたけのちっちゃの舞台を親子で訪ねるちっちゃの旅を行う。環境ボランティア部会で各学校の環境学習・活動	紙分別モデル地区として城山区、南小泉区で取組を開始する。地元の自然の豊かさ、大切さを知るちっちゃの旅を7月30日に実施。環境ボランティア部会を開催し情報交換を行い、エコフェスタでの展示発表の打合せを行う	紙分別の取組みについて、成果・検証は難しい環境についての学習・活動が続くように支援する
第3期	紙分別モデル地区として城山区、南小泉区で取組み。各学校の環境学習・活動をエコフェスタで展示発表	紙分別モデル地区として城山区、南小泉区で取組み継続。各学校の環境学習・活動をエコフェスタで展示発表し、その後、市役所ロビーでも展示した。環境絵本の展示、読み語りをエコフェスタで行った	紙分別の取組みについて、成果・検証について環境についての学習・活動が続くように支援する
第4期	紙分別モデル地区として城山区、南小泉区で取組み。「やつがたけのちっちゃ」だけでなく、購入・寄贈された他の環境絵本を保育園で巡回する	紙分別モデル地区として城山区、南小泉区で取組み継続。市内保育園を4グループに分け絵本巡回を行った。	紙分別の取組みについて、成果・検証について環境についての学習・活動が続くように支援する

事中評価																									
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 可燃ごみ減量に対する紙分別の取組みは、検証が難しく成果を確認しづらい。 新年度の実施計画・予算要求事項（改革・改善策） 紙分別モデル地区でアンケート調査を実施し、今後の課題、進め方を検討する。	<table border="1"> <tr> <td>今後の方向性</td> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>現状維持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>縮小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>休廃止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性</p>	今後の方向性	成果の方向性	拡充	②	⑤	⑦			現状維持	③	⑥	⑨			縮小	④	⑧	⑩			休廃止	①		
今後の方向性	成果の方向性	拡充	②	⑤	⑦																				
		現状維持	③	⑥	⑨																				
		縮小	④	⑧	⑩																				
		休廃止	①																						

評価年度	当年度
------	-----

視点	妥当性					有効性					効率性					総合評価判定
	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	
評価の観点					4					4					4	A
チェック					4					4					4	

課題	美サイクル茅野への新規会員の加入を図る。 紙分別モデル地区での検証と成果の確認は難しい。今後の取組み及び進め方の検討。	記号の定義 A：計画どおり事業を進めることが適当 B：事業の進め方に改善が必要 C：事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D：事業の統合、休・廃止の検討が必要
前年度総合評価判定		
前年度評価シート整理番号	02050111	

総合評価	細施策評価前					細施策評価後				
	持続可能な循環型生活に向けてごみ減量、3R活動、環境美化活動、環境学習など今後も公民協働の取組が必要とされる。	持続可能な循環型生活に向けてごみ減量、3R活動、環境美化活動、環境学習など今後も公民協働の取組が必要とされる。								
前年度改革・改善策の実施状況	前年度細施策評価における今後の方向性									

改革・改善の方向性	細施策評価前					細施策評価後				
	成果の方向性	拡充		②	⑤	⑦	拡充			
	現状維持		③	⑥	⑨	現状維持				
	縮小		④	⑧	⑩	縮小				
	休廃止	①				休廃止				
	皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性					皆減縮小現状維持拡大 コスト投入の方向性				

改革・改善策	美サイクル茅野の新規会員を増やし活動を継続する。 可燃ごみの減量のため、新たな施策に取り組む。	可燃ごみ削減のため検証した雑紙の収集について全市を対象として実施する場合コスト拡大を必要とする。
--------	--	--

最終評価年月日	平成30年5月7日	最終評価責任者	美サイクルセンター長	保科慎一
---------	-----------	---------	------------	------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	環境保全対策事業	事業期間	平成 17 ~ 年度	整理番号	02040101
担当部署	市民環境部	作成担当者名	朝 倉 健 太	連絡先	263

計	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策 02 第2章 好きなまち・誇れるまち・未来につなぐ環境都市をめざす 施策 04 第4節 未来につなぐ環境を創る 細施策 03 総合的な環境保全対策の推進 事務事業 01 環境基本計画推進事業		
	予算事業名	環境保全対策事業費		会計コード 001 款 04 項 01 目 06 事業 02		
	事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	平成13年に策定した茅野市環境基本計画の改定を行う。計画を全面的に見直すとともに茅野市減CO2計画の改定を含め、平成30年度を始期とする環境にやさしい循環型・低炭素型・自然共生型社会の構築に向けた新たな計画の策定を行う。自然公園内の現況確認、環境美化等をするためのパトロールの実施。河川保全整備推進協議会の活動支援。				
	現状と背景 (どうして)	環境基本計画は第5次総合計画の策定に併せて平成29年度まで期間を延伸し、平成30年度に改定することとなっている。軽微な服装で自然公園に入る人が多くなっており、登山道等の安全確保の必要性が求められている。また、登山マナーについても問題視されつつあることから、登山経験者等に現地確認を依頼している。				
目的	対象	受益者 (誰のために)	市民			
	対象	対象 (直接働きかける)	市民・事業者 グリーンパートナー 河川保全整備推進協議会構成団体			
手段・方法 (どうやって)	意図 (どんな状態にしたいか)	現在の環境をとりまく課題に対応できるように計画を改定し、市の環境施策体系を明らかにしたうえで、市、市民、事業者による計画的な取組を行う。 登山道等公園施設の危険箇所早期発見、登山道に放置されているゴミの減少を図り、自然公園を安全、快適にする。 (環境基本計画) 現計画の成果や課題、昨年度実施したアンケート調査の結果を踏まえ、計画案を策定し、環境審議会などによる検討を行い計画を策定する。 (グリーンパトロール) グリーンパートナーに年間5日以上のパトロール実施、及び年1回の報告書提出を依頼する。 この他、定期的にパトロールを実施する。 (河川保全整備推進協議会) 年間事業予定に基づき会議や要望書の提出等の各事業の準備・実施・反省を幹事等とともに実施する。 活動に参加している区には、保全意識の高揚や活動PRのための看板を制作し配布する。				
	評価指標の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
状況	活動指標	パトロール実施の増加	パトロール実施日数	日	年間延べ実施日数	150
		グリーンパートナー会員数の増加	グリーンパートナー会員数	人	グリーンパートナー会員登録者数	30
	成果指標	成果・効果は何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		危険箇所の情報量の減少	情報非収集率	%	(1-情報収集案件数÷パトロール実施日数) × 100	100
ゴミ散乱指摘数の減少	ゴミ非散乱率	%	(1-ゴミ散乱指摘件数÷パトロール実施日数) × 100	100		

項 目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(予算 又は決算額)	平成30年度 事業計画(予算)
事業費等(a)	円	300,633	163,018	380,920	3,043,378	699,000
財源内訳						
国庫支出金	円					
県支出金	円					
地方債	円					
その他特定財源	円		30,904	30,704	34,204	30,000
一般財源	円	300,633	132,114	350,216	3,009,174	669,000
職員数	人	0.02	0.02	0.02	1.50	
正規職員	人					
嘱託職員	人					
臨時職員	人					
合計	人	0.02	0.02	0.02	1.50	
対象(者)数	人					
延利用(者)数(b)	人					
単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-
受益者負担額	円					
市民一人当たりのコスト	円	5.00	3.00	7.00	55.00	13.00
活動指標	パトロール実施日数	目標	150	150	150	150
		実績	180	180	180	180
		達成率	120.00	120.00	120.00	120.00
	グリーンパートナー会員数	目標	30	30	30	30
		実績	39	36	39	37
		達成率	130.00	120.00	130.00	123.33
-	目標	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	
成果指標	情報非収集率	目標	100	100	100	100
		実績	91	80	87	89
		達成率	91.00	80.00	87.00	89.00
ゴミ非散乱率	目標	100	100	100	100	
	実績	98	90	95	98	
	達成率	98.00	90.00	95.00	98.00	

備考 市民プランの細施策において横断的な事務事業である。対象細施策の政策体系番号 04050202

事務事業名	環境保全対策事業	事業期間	平成 17 ~	年度	整理番号	02040101
担当部署	市民環境部	環境課	環境保全係	作成担当者名	朝倉健太	連絡先 263

期	目 標	実 績	課 題
第1期	(環境基本計画)総合計画や他分野別計画との調整、業者委託(グリーンパートナー)連絡会議の開催(河川保全整備推進協議会)活動のとりまとめ	(環境基本計画)進め方の検討、アンケート見直し(グリーンパートナー)8/8連絡会議(河川保全整備推進協議会)活動計画、要望事項提出	なし
第2期	(環境基本計画)計画策定(グリーンパートナー)合同パトロールの開催(河川保全整備推進協議会)現地視察、要望書まとめ	(環境基本計画)進め方の検討、アンケート見直し(グリーンパートナー)8/23合同パトロール(河川保全整備推進協議会)全体会議、現地視察、要望書提出	なし
第3期	(環境基本計画)計画策定(グリーンパートナー)合同パトロールの開催(河川保全整備推進協議会)要望書提出	(環境基本計画)計画策定、審議会での検討、パブコメ実施等(グリーンパートナー)10/4合同パトロール	なし
第4期	(環境基本計画)総合計画や他分野別計画との調整、業者委託(グリーンパートナー)連絡会議の開催(河川保全整備推進協議会)活動のとりまとめ	(環境基本計画)計画策定、審議会での検討、パブコメ実施等	なし

事 中 評 価													
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	今 成 果 の 方 向 性 方 向 性												
第2次茅野市環境基本計画の推進													
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)													
第2次茅野市環境基本計画の推進体制の構築													
<table border="1"> <tr> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		②	⑤	⑦	③	⑥	⑨	④	⑧	⑩	①		
②	⑤	⑦											
③	⑥	⑨											
④	⑧	⑩											
①													
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性													

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定	
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定		
チェック					4					4					レ	3	B
課題	<p>(グリーンパトロール)登山者のマナー向上。 (河川保全整備推進協議会)「茅野市河川保全整備推進協議会」の主な活動は、一級河川の活動団体からの要望を取りまとめ、諏訪建設事務所へ提出していくというものであり、建設課の業務内容と関連しているため、事務局は環境課より建設課のほうがスムーズに行える。</p>																
CH E C K	前年度改革・改善策の実施状況										前年度細施策評価における今後の方向性					前年度総合評価判定 A	
	前年度細施策評価における今後の方向性										前年度細施策評価における今後の方向性					前年度評価シート整理番号 02040116	

細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後
(グリーンパトロール) 会員数の増加とともに、年間の活動日数も増加しており、市民ボランティアによる山岳地域の環境美化活動が定着しつつある。	(グリーンパトロール) 会員数の増加とともに、年間の活動日数も増加しており、市民ボランティアによる山岳地域の環境美化活動が定着しつつあるので、このまま進めたい。

今 後 の 方 向 性	細 施 策 評 価 前	細 施 策 評 価 後																																
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡 充</td> <td>②</td> <td>⑤</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td>③</td> <td>⑥</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td>④</td> <td>⑧</td> <td>⑩</td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡 充	②	⑤	⑦	現 状 維 持	③	⑥	⑨	縮 小	④	⑧	⑩	休 廃 止	①			<table border="1"> <tr> <td>拡 充</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現 状 維 持</td> <td></td> <td></td> <td>レ</td> </tr> <tr> <td>縮 小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休 廃 止</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	拡 充				現 状 維 持			レ	縮 小				休 廃 止			
拡 充	②	⑤	⑦																															
現 状 維 持	③	⑥	⑨																															
縮 小	④	⑧	⑩																															
休 廃 止	①																																	
拡 充																																		
現 状 維 持			レ																															
縮 小																																		
休 廃 止																																		
皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性	皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性																																	

改 革 ・ 改 善 策	改 革 ・ 改 善 策
(河川保全整備推進協議会) 所管課替えの検討	(河川保全整備推進協議会) 建設事務所の考えが変更になったことから、今後、建設課へ所管課替えの検討すべきと考える。

最終評価年月日	平成30年5月18日	最終評価責任者	環境課長	平 沢 幸 人
---------	------------	---------	------	---------

平成29年度事務事業評価シート（一般事務事業用）

一般会計【茅野市】

事務事業名	環境自治会活動支援事業	事業期間	平成 20 ~ 年度	整理番号	02050211
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	作成担当者名	金井和人
				連絡先	380

計 画 （ P L A N ）	市民プランにおける位置づけ	有	政策体系	政策	02	第2章 好きなまち・誇れるまち・未来につなぐ環境都市をめざす							
				施策	04	第4節 未来につなぐ環境を創る							
				細施策	01	広域的な連携と市民総参加の活動の推進							
				事務事業	01	市民環境団体活動支援事業							
	予算事業名			会計コード	001	款	04	項	01	目	04	事業	02
	事務事業の概要 （簡潔にわかりやすく）	生活衛生、環境美化活動の活動団体である茅野市環境自治会の活動に対し負担金の交付、及び清掃活動による土砂処理を支援する。											
	現状と背景 （どうして）	各支部（区単位）、各地区（地区単位）からなる環境自治会はその地域の生活衛生や環境美化活動を実施している。戦後は衛生環境の向上のため、全市的に取り組む必要があったが、現在では環境美化活動も加わっている。その活動補助として会議運営費、清掃活動費等を補助する必要がある。又、清掃活動による土砂の処理が出来ない行政区があるため、対応が必要											
	目的 （どんな状態にしたいか）	対象 （誰のために）	受益者 地域住民										
		対象 （直接働きかける）	環境自治会										
		意図 （どんな状態にしたいか）	市から環境自治会へ負担金を交付することによって環境美化活動を推進してもらい、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。										
	手段・方法 （どうやって）	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区コミュニティ運営協議会及び茅野市環境自治会連合会へ交付 ・残土処分場を持つ隣富興業との委託契約により処分場を確保する。 											
N （ ）	活動指標 の作成	行政活動の結果からつくりだすものは何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		一斉清掃による全市的な環境美化活動	実施回数	回	一斉清掃実施回数				2				
		土砂処分場の確保	土砂処分場の確保	箇所	土砂処分場の確保				1				
	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値				
		一斉清掃による廃棄物の収集量	収集量	t	可燃物収集量+不燃物収集量				*				
		年間一斉清掃参加人数	年間総参加人数	人	一斉清掃+クリーンウォーク+アダプトプログラム参加人数				20,000				

実施状況	項目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（予算 又は決算額）	平成30年度 事業計画（予算）	
			事業費等(a)	円	5,925,000	5,935,812	5,952,000	5,908,611
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
職員数	一般財源	円	5,925,000	5,935,812	5,952,000	5,908,611	6,017,000	
	正規職員	人	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
	嘱託職員	人						
	臨時職員	人						
	合計	人	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
状況	対象（者）数							
	延利用（者）数(b)							
	単位コスト(a)/(b)	円	-	-	-	-	-	
	受益者負担額	円						
D O （ ）	活動指標	実施回数	目標	回	2	2	2	2
			実績	回	2	2	2	2
	土砂処分場の確保	目標	箇所	1	1	1	1	
		実績	箇所	1	1	1	1	
	-	目標	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	
成果指標	収集量	目標	t	15	15	15	15	
		実績	t	15	17	15	15	
	達成率	%	100.00	110.67	100.00	100.00	100.00	
	年間総参加人数	目標	人	20,000	20,000	20,000	20,000	
実績		人	17,486	18,793	14,968	18,000		
達成率	%	87.43	93.97	74.84	90.00	100.00		
備考	平成24年度から成果指数に年間総参加人数を加える。							

事務事業名	環境自治会活動支援事業	事業期間	平成 20 ~	年度	整理番号	02050211
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	作成担当者名	金井和人	連絡先 380

期	目 標	実 績	課 題
第1期	①各区及び自治会との分別収集委託契約の締結を行う。 ②年度当初に各地区へ負担金を交付する。 ③春季クリーンウォーク、第1回上川アダプトプログラム及び一斉清掃の実施	①委託契約の締結 ②全地区へ4月に交付 ③4月9日(日)実施	問題なく計画どおり円滑な運営、事業展開している。
第2期	夏季市内クリーンウォーク、第2回上川アダプトプログラムの実施に向け、外来種駆除のPRし実施する。	夏季市内クリーンウォーク、第2回上川アダプトプログラム、7月1日に実施した。	問題なく計画どおり円滑な運営、事業展開している。
第3期	①秋季市内クリーンウォーク、第3回上川アダプトプログラム実施する。 ②家庭系廃棄物回収事業	①10月7日に秋季市内クリーンウォーク、第3回上川アダプトプログラム実施。 ②11月25日に実施	問題なく計画どおり円滑な運営、事業展開している。
第4期	平成30年新規役員体制により、総会の実施と、地区別分別講習会を行う。	1月27日総会を実施	問題なく計画どおり円滑な運営、事業展開している。

事 中 評 価	
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 歴史ある団体であり、現在の事業内容で無理なく継続されている。	今 成 拡 充 後 果 の 現 状 維 持 の 方 向 性 縮 小 方 向 性 休 廃 止 性
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 行政と地元自治会との密接な関係が維持されているので、現状の維持が望ましい。	② ⑤ ⑦ ③ ⑥ ⑨ ④ ⑧ ⑩ ① 皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性

評価年度	当年度
------	-----

評 価 観 点	妥 当 性					有 効 性					効 率 性					総 合 評 価 判 定
	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	1	2	3	4	判 定	
チェック					4					4					4	A
課題	負担金は環境美化活動の補助金であり、又土砂処理支援も環境美化活動に必要なため共に継続的な予算措置が必要となる。															
記号の定義	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模・内容・実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検討が必要															
前年度総合評価判定																
前年度評価シート整理番号	05020219															

総 合 評 価	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	前年度改革・改善策の実施状況	全市を網羅する環境自治会に対する活動補助であり、営利団体や民間企業で同じ業務を実施いただくより遙かに低コストで活動を実施いただいている。また、地域コミュニティとの連携の中で自助、共助のまち作りにも貢献いただいております、今後とも事業を継続すべきである。								
前年度細施策評価における今後の方向性	全市を網羅する環境自治会に対する活動補助であり、営利団体や民間企業で同じ業務を実施いただくより遙かに低コストで活動を実施いただいている。また、地域コミュニティとの連携の中で自助、共助のまち作りにも貢献いただいております、今後とも事業を継続すべきである。									

改 革 ・ 改 善 策	細 施 策 評 価 前					細 施 策 評 価 後				
	今 後 の 方 向 性	成 果 の 方 向 性	拡 充	②	⑤	⑦	成 果 の 方 向 性	拡 充		
改 革 ・ 改 善 策	現 状 維 持		③	⑥	⑨	現 状 維 持				レ
	縮 小		④	⑧	⑩	縮 小				
	休 廃 止	①				休 廃 止				
			皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性				皆 減 縮 小 現 状 維 持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性			
改 革 ・ 改 善 策	平成20年度より、本補助事業及び環境衛生事業等委託事業については、負担金へ一本化した上で、各コミュニティ運営協議会を経由して支出している。地域特有の問題に、より対応が出来る体制となったため、効果の増大が期待されるため、年度始期の負担金交付にする。地域組織の協力を得て事業を実施しており、市が実施したり、営利団体等へ依頼するよりも遥かに低価格で実施できている。今後も継続していくことが望ましい。地区コミュニティでの参加実施を働き掛け総参加人数を達成させる。又各地区で土砂を処理(活用)できるよう働									

最終評価年月日	平成30年5月7日	最終評価責任者	美サイクルセンター長	保 科 慎 一
---------	-----------	---------	------------	---------